保存版

平群町

防災ハザードマップ

土砂災害編

ー 備えるだけで未来が変わる！ ー

平群町公式LINE

検索から追加も

平群町に関する情報を配信します。防災メニューではハザードマップや気象情報を確認でき、基本メニューでは平群町ホームページや電子申請ページへアクセスできます。

LINEアプリを開き、検索で「 平群町 」と入力して登録できます。

1：避難は必要ですか？

1~4 のページは非常時にも利用できます

大雨時の適切な避難行動

土砂災害発生の危険があるとき	水害発生の危険があるとき

ハザードマップを確認して…

土砂災害発生の危険があるとき

●自宅のある場所に色が塗られている

レッドゾーン
- 土石流・急傾斜地の崩壊

イエローゾーン
- 土石流・急傾斜地の崩壊・地すべり

立退き避難が必要です

レッドゾーン（土砂災害特別警戒区域）
崩壊した土石などにより、生命や身体に大きな危害が生じるおそれがあります。

イエローゾーン（土砂災害警戒区域）
崩壊した土石で被害を受けるおそれがあります。

水害発生の危険があるとき

●自宅のある場所に色が塗られている
- 0.5m～3m未満
- 3m～5m未満
- 5m～10m未満
- 家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）
- 浸水継続時間が長い区域（12時間以上24時間未満）

●色が塗られていなくても**周囲より低い土地**に住んでいる

立退き避難が必要です

避難が遅れたときは
緊急安全確保
避難が遅れた場合は、無理して遠くへ向かわず、近隣のマンションなど、より高い場所へ避難しましょう。

自宅での避難が可能な場合は
屋内安全確保
・自宅に色が塗られていない
・食料や水の備蓄が十分ある

避難が必要なタイミング

経過（例）	大　雨	河川氾濫	土砂災害	とるべき行動・避難情報
気象状況の悪　化	警戒レベル1 早期注意情報			災害への心構えを高める
	警戒レベル2 大雨注意報	氾濫注意報	土砂災害注意報	避難行動を確認
災害発生のおそれあり	警戒レベル3 大雨警報	氾濫警報	土砂災害警報	危険な場所から高齢者等は避難 高齢者等避　難
災害発生の危険性が高まる	警戒レベル4 大雨危険警報	氾濫危険警報	土砂災害危険警報	危険な場所から全員避難 避難指示
	警戒レベル4までに必ず避難！			
災害発生	警戒レベル5 大雨特別警報	氾濫特別警報	土砂災害特別警報	命の危険 直ちに安全確保！ 緊　急安全確保

低 → 高（緊急度）

※警戒レベル5は災害の状況を確実に把握できるものではないなどの理由から、必ず発令される情報ではありません。警戒レベル4までに必ず避難してください。

2：情報収集をしましょう

災害時における情報の入手

→ 自ら集める情報
→ 発信される情報

広報車

平群町ホームページ

奈良県河川情報システム

防災行政無線
防災行政無線の内容を聞くことができます
0745-45-3315

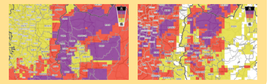
平群町メール配信システム
touroku@heguri-mail.jp
登録すると防災情報が配信されます

テレビ・ラジオ等
テレビで確認
テレビのリモコンのdボタンで防災情報などを確認できます

緊急速報メール（エリアメールなど）

キキクル

キキクルって？
大雨による災害発生（土砂災害・浸水害・洪水害）の危険度を地図上で確認できます



いざというときの連絡先

機　関　名	電話番号	機　関　名	電話番号
警察（緊急）	110	消防（火災・救急の要請）	119
西和警察署	0745-72-0110	西和消防署	0745-73-1001
西和警察署平群交番	0745-45-0016	西和消防署北分署	0745-45-3388
関西電力送配電（株）	0800-777-3081	三室休日応急診療所	0745-74-4100

安否確認方法　災害用伝言ダイヤル

伝言の録音方法
1 7 1 にダイヤル
音声ガイダンスが流れる
録音の場合 1
音声ガイダンスが流れる
被災地の人の電話番号を入力（XXX）XXX-XXXX

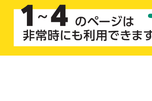
伝言の再生方法
1 7 1 にダイヤル
音声ガイダンスが流れる
再生の場合 2
被災地の人の電話番号を入力（XXX）XXX-XXXX

災害用伝言板web171
インターネット上で利用できます

3：避難時に必要なもの・注意すること

非常持ち出し品

- □ スマートフォン(携帯電話)
- □ 充電器
- □ モバイルバッテリー(電池タイプ)
- □ 懐中電灯(ヘッドライト)
- □ 電池式ラジオ
- □ 貴重品（現金(小銭含む)、印鑑、通帳、マイナンバーカード、身分証明書など）
- □ 非常食（アルファ化米、レトルト食品など）
- □ 飲料水
- □ ビニール袋
- □ 歯ブラシ・歯磨きシート
- □ 体温計
- □ 救急セット
- □ 衛生用品（消毒液、マスクなど）
- □ 常備薬、持病薬
- □ 携帯トイレ（大人1日5回分）
- □ 軍手
- □ 給水袋
- □ タオル
- □ 衣類



非常持ち出し品は、重すぎると避難の妨げになる場合があります。体力に合った重さ、大きさの物を選びましょう。

目安　男性 15kg　女性 10kg

立退き避難の心得

正確な情報の入手

こまめに情報収集を行う

避難前の確認

・火の始末
・ブレーカーを落とす
・戸締りをする

適切な避難所の選択

安全な親戚・知人宅や町指定の避難所へ

足元の保護

長靴などは避け、運動靴で避難

安全な避難ルートで避難

歩きなれた道を選び、狭い道、塀ぎわ、川べりは避ける

足元の安全確認

溝やマンホールに備えて1m程度の杖か棒を用意

要配慮者への協力

近所のお年寄りが避難する場合には協力する

避難時の注意点

深さ30cmを超えると自動車は走行困難になります。

歩ける深さの目安
男性70cm
女性50cm

浸水すると人はまともに歩けなくなります。

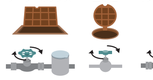
4：適切な避難生活のために

自宅での避難生活

電気・ガス・水道が使えなくなった時を想定しましょう

災害時に断水したら…

水道の元栓を閉める



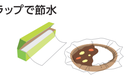
泥や濁った水が家の水道管に入るのを防ぎましょう

トイレに水は流さない

配水管が壊れると水を流した時に汚水が逆流する危険があります

自宅でできる工夫

ラップで節水



食器にラップを巻くと、容器を汚さずに食事をすることができます

ラップでにおい対策

生ごみや紙おむつをラップで包むことでにおいを軽減することができます

手作りランタンで明るく

懐中電灯の上に水をいれたペットボトルを置いてランタンに

体温調節

暑さ対策

濡れタオルで体を拭き、うちわであおぐなどして暑さ対策を行いましょう

寒さ対策

上着の下に新聞紙を巻く、ダンボールを床に敷く、ポリ袋を用いて窓を塞ぐことで寒さ対策ができます

ローリングストックで食料品を備蓄しましょう

避難所での避難生活

避難所に避難したら… 避難者名簿に記入しましょう

ルールを守ろう

安全に避難所生活を送るためにルールは必ず守りましょう

避難所運営に協力しよう

助け合いが重要です。積極的に協力しましょう

こまめに水分・塩分補給

適切に水分補給を行い、体調管理を行いましょう

体を動かそう

エコノミークラス症候群の予防にもなります

手を清潔に保とう

こまめに手洗い、消毒を行いましょう

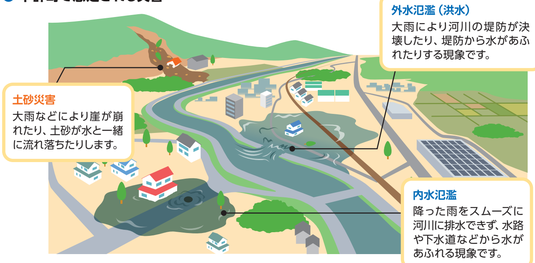
トイレはきれいに使おう

集団感染予防のためにきれいに使いましょう

風水害の特徴

毎年6月～10月は、集中豪雨や台風が発生し、風水害が起きやすい時期です。
風水害は気象情報によってある程度発生時期を予測できますが、局地的大雨（ゲリラ豪雨）のように、予測が困難な場合もあります。そのため、適切な情報収集と早めの避難を行うことが大切です。平群町で発生することが考えられる災害について、知っておきましょう。

平群町で想定される災害



土砂災害の種類

がけ崩れ
大雨により水分が地面の中にしみ込み、急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。

土石流
山から崩れてきた土や石が、長雨や集中豪雨などの大量の水と一緒になって谷を流れてくる現象です。

地すべり
傾きの緩い斜面の土や石が広い範囲にわたって滑り落ちる現象です。

家屋の浸水を軽減する方法

ごみ袋による簡易水のう
ごみ袋を二重にし半分程度水を入れて、ダンボール箱にいれ連結します。

ポリタンクとレジャーシートで防水壁
ポリタンクに水をいれ、レジャーシートで巻き込み連結します。

プランターとレジャーシートで防水壁
土をいれたプランターを、レジャーシートで巻き込み連結します。

止水板
出入口は長めの板などを使用し、浸水を防ぎます。

風呂の貯水
下水の逆流防止、生活用水としての利用などの利点があります。

トイレや洗濯機などの排水溝
水をいれたビニール袋を置いておくと、排水溝から逆流してくる泥水を防げます。

災害への備え・防災活動

非常備蓄品

非常備蓄品は、災害直後から混乱が収まるまでに必要なものです。
最低3日間分、できれば**1週間分以上**の備蓄をしておきましょう。

✓ 自宅での避難生活を支えるもの

- □ 飲料水（1人当たり1日3リットル）
- □ 非常食（アルファ化米、レトルト食品など）
- □ 携帯コンロ、ガスボンベ
- □ ラップ、アルミホイル
- □ なべ、やかん
- □ 簡易食器（紙コップ、紙皿、割り箸など）
- □ 雨具
- □ 毛布
- □ 使い捨てカイロ
- □ 予備電池
- □ 生理用品
- □ 衛生用品（消毒液、マスクなど）
- □ 簡易トイレ（1人1日5回分）
- □ ウェットティッシュ
- □ バケツ
- □ 給水袋
- □ ゴミ袋
- □ 工具類（ロープ、バールなど）
- □ 新聞紙
- □ 布ガムテープ
- □ その他自分の生活に欠かせないもの

✓ 乳幼児・妊産婦がいる家庭に役立つもの

- □ ミルク（粉・液体）
- □ 使い捨て哺乳びん
- □ 紙コップ
- □ スプーンなど
- □ 紙おむつ
- □ おしりふき
- □ おんぶひも
- □ 抱っこひも
- □ ガーゼハンカチ
- □ 清浄綿
- □ スタイ（よだれかけ）
- □ 母乳パッド
- □ 授乳ケープ
- □ ベビーフード
- □ おもちゃなど

✓ 高齢者・要介護者がいる家庭に役立つもの

- □ 大人用紙おむつ
- □ 紙パンツ
- □ 入れ歯
- □ 入れ歯用洗浄剤
- □ 杖
- □ 介護用品
- □ 老眼鏡
- □ 補聴器
- □ 障害者手帳
- □ ヘルプマーク
- □ とろみ剤
- □ その他自分の生活に欠かせないもの

地域での防災活動

自主防災組織とは
「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識のもと、自主的に協力して防災活動を行う組織です。
お住まいの地域に自主防災組織があれば、積極的に防災活動に取り組みましょう。

行政出前講座
地域の防災力アップを目標とし、災害時に迅速に対応するため、防災・減災や災害リスクについて詳しく解説します。
行政出前講座の開催をご希望の場合は、まち未来推進課までお問い合わせ下さい。

防災訓練に参加しましょう
皆さんが住んでいる地域や職場、学校等でも防災訓練の機会があります。積極的に参加し、日頃の備えについて確認したり、家族やご近所の方と防災について話し合いましょう。

避難行動要支援者名簿の登録について
高齢者や障がい者などの方で、災害時などに自力で避難することが難しく支援を必要とする方（避難行動要支援者）を対象に「避難行動要支援者名簿」の作成を進めています。対象者の方で必要とされる方は役場へご連絡下さい。なお、難病患者や妊産婦などの方で名簿の登録を希望する方も、役場へご相談下さい。

マイ・タイムラインの作成

災害発生時、あわてず適切な避難を行うために、事前に避難計画を立てましょう。

1 避難先を記入しましょう。

避難先❶	避難先❷	避難先❸
安全な自宅・親戚・知人宅・職場など	平群町が指定する避難場所	緊急安全確保を行う場所

2 避難を開始するまでに何をするかを考えましょう。

情報収集	やることを ✓
□ 気象情報・避難情報を確認	
避難の準備	
□ 非常持ち出し品・非常備蓄品の確認	
□ 必要な物の買い出し	
□ 携帯電話の充電	
□ 家財などを2階以上へ移動開始	
□ 飛ばされそうな物の片づけ	
□ 窓の施錠	
□ ブレーカーを落とす	
□ 避難場所の開設状況の確認	
□ 避難ルートの確認	
□ 避難しやすい服装に着替える	
連絡・声かけ	
□ 近所への声かけ	
□ 避難の声かけをする　□ 一緒に避難する	
名前	
連絡先	
□ 家族と連絡を取り合う（離れている場合）	
連絡先❶ 名前	
連絡先❶ 連絡先	
連絡先❷ 名前	
連絡先❷ 連絡先	

3 警戒レベル毎に、1で記入した避難先への避難、2で確認した事前準備をどのタイミングで行うかを記入しましょう。

※災害の状況により、必ずしも警戒レベルの順で情報が発表されるとは限りません。状況に応じた柔軟な対応を心がけましょう。

低 → 高（緊急度）

	記入欄 「いつ避難する？」「いつ何をする？」
警戒レベル1 早期注意情報	例：非常持ち出し品を再確認しておく（お父さん）
警戒レベル2 避難行動確認 情報収集し、避難行動を確認！	例：避難場所を再確認しておく（みんな）
警戒レベル3 高齢者等避難 危険な場所から高齢者等避難！	この段階での避難先の目安　避難先❶、❷ 例：おばあちゃんとお母さんが親戚の家に車で避難する
警戒レベル4 避難指示 危険な場所から全員避難！	この段階での避難先の目安　避難先❶、❷ 例：○○へ避難する（みんな）
警戒レベル5 緊急安全確保 命の危険 直ちに安全確保!!	この段階での避難先の目安　避難先❸ 例：○○へ緊急避難する（みんな）

その他

この紙面のほか、インターネットでは、「平群町地震ハザードマップ」を閲覧可能です。
https://www.town.heguri.nara.jp/soshiki/6/1192.html